

めぐみイエス・キリスト教会

2020年5月24日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第508号」



2020年標題聖句

第 I テサロニケ5章16節~18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(各家庭にて)	毎週日曜日	午前10時~11時
第二礼拝※中止	毎週日曜日	午後6時~7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分~7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年5月24日 第四主日礼拝 午前10時

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌395「主はガリラヤ湖の」 p. 634

【交読文】 No.55 ヨハネの福音書15章 p. 923

【賛美Ⅱ】 新聖歌325「歌いつつ歩まん」 p. 515

【使徒信条】 【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美「父なる神の愛」

【聖書朗読】 使徒の働き1章15節～26節(新約p. 208下段)

【聖書研究】 《使徒の補充》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 使徒の働き1章15節～26節

1:15 その頃、百二十名ほどの兄弟たちが集まっていたが、ペテロはその中に立ってこう言った。

1:16 「兄弟たち。イエスを捕えた者どもの手引きをしたユダについて、聖霊がダビデの口を通して預言された聖書の言葉は、成就しなければならなかったのです。

1:17 ユダは私たちの仲間として数えられており、この務めを受けていました。

1:18 (ところがこの男は、不正なことをして得た報酬で地所を手に入れたが、まっさかさまに落ち、からだは真二つに裂け、はらわたが全部飛び出してしまった。

1:19 このことが、エルサレムの住民全部に知れて、その地所は彼らの国語でアケルダマ、すなわち『血の地所』と呼ばれるようになった。）

1:20 実は詩篇には、こう書いてあるのです。『彼の住まいは荒れ果てよ、そこには住む者がいなくなれ。』また、『その職は、他の人に取らせよ。』

1:21 ですから、主イエスが私たちと一緒に生活された間、

1:22 すなわち、ヨハネのバプテスマから始まって、私たちを離れて天に上げられた日までの間、いつも私たちと行動を共にした者の中から、誰かひとりが私たちと共にイエスの復活の証人とならなければなりません。」

1:23 そこで、彼らは、バルサバと呼ばれ別名をユストというヨセフと、マツテヤとのふたりを立てた。

1:24 そして、こう祈った。「すべての人の心を知っておられる主よ。

1:25 この務めと使徒職の地位を継がせる為に、このふたりのうちのどちらをお選びになるか、お示し下さい。ユダは自分の所へ行く為に脱落して行きましたから。」

1:26 そしてふたりの為にくじを引くと、くじはマツテヤに当たったので、彼は十一人の使徒たちに加えられた。

◎聖書研究と分かち合い

①主の弟子は十二使徒だけではなく、公生涯において他にも弟子たちがいたことが福音書には書かれています。この中にバルサバとマツテヤが含まれていたことは、明白な事実です。この事から何を思われますか。

◎ルカの福音書10章1節～17節参照(新約p.121)

②「十二使徒」の使命とは、具体的に何でしょうか。

◎マタイの福音書28章18節～20節参照(新約p.57)

◎ルカの福音書24章44節～48節参照(新約p.156)

③ペテロは、「ユダは自分の所へ行く為に脱落して行った」と言っていますが、それは主イエス様の御心であったのでしょうか。主イエス様のまことの願いは何であったのでしょうか。次の聖句から考えて見て下さい。

◎ヨハネの福音書3章16節参照(新約p.161)

◎先週のメッセージの概要【屋上の間において】

《主イエス様は、オリーブ山において、弟子たちの見てる間に、天に上って行かれました。オリーブ山はエルサレムから「安息日の道のり」の距離の所にあつたのです。それは2,000キュビト(900m)のことです。

さてルカは、弟子たちが、非常な喜びを抱いてエルサレムに帰って行ったと書き記しています。その喜びとは、まことに主が、神の御子キリストであり、救い主であることを、自分たちの目で目撃し確信したからです。

彼らはエルサレム市内に入ると、泊まっている屋上の間に上がりました。伝承ではこの場所は、マルコの福音書の著者であるヨハネ・マルコの家であると言われていています。主イエス様と十二使徒たちが、「最後の晩餐」を行なつた場所と同じ場所でもあり、そしてペンテコステの場所でもあつて、それ以降は、エルサレム初代教会ともなるのです。

次にルカは、十一使徒の名前を書き記しています。この書き方は共観福音書に書かれた順と違っています。良く見ますと、二人一組になっています。これこそが、主が十二使徒を二人ずつ分けた六チームなのです。その証拠は、過越の食事の準備に遣わされた二人は、ペテロとヨハネです。ペンテコステの後、神殿の「美しの門」において、生まれつき足のきかない男をいやしに導いた二人も、同じくペテロとヨハネです。

さて二人ずつの名前を見ますと、一番最後は「アルパヨの子ヤコブと熱心党员シモンとヤコブの子ユダ」と三人の名前が挙げられています。ヤコブの子ユダだけが実は一人です。ここから、かつてイスカリオテのユダのパートナーが、ヤコブの子ユダであつたことが分かります。この後ペテロは、脱落したイスカリオテ・ユダの後継者を選出することになります。

また『イエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちと共に〜』と書き記されていますが、主の弟と妹たちが実の兄であるイエス様を信じて、クリスチャンに加えられたことは、主イエス様が復活された後のことなのです。》

◎お知らせ

※主日第一礼拝は、5月31日(日)から教会にて行ないます。夜の第二礼拝は6月21日から行ないます。また聖書の学びと祈り会は、6月10日(水)から教会にて行ないます。5月27日・6月3日は各家庭にて行ないます。

